

木綿の着物 2002

愛してやまない もめん

これほど心地よく、普段使いに適した着物があるだろうか。

染織こだま、木綿売りの原点「木綿の着物水通し実験」
家で洗えて・丈夫で・安い。

おまけにオシャレな着物は、ここにあった。と、発見したエピソードです。



① 加工前の反物



②まず、5時間水につけました



③糊出しのために、3度押し洗いしました



④巻き芯に巻き、バスタオルで水気を取りました



⑤写真のように干しました



⑥半乾きの状態で、布目を整えながらアイロンをかけました



⑦出来上がりです。とっても心地よい風合いが出ました
※色が変わったわけではありません、撮影時間や場所によるものです

実験前データ	実験後データ	加工業者による湯通し後データ
幅 36.0cm	幅 36.0cm	幅 36.0cm
	 変化なし	 変化なし
長さ 11.60m	長さ 10.84m	長さ 11.22m
	 76cm 縮み	 38cm 縮み

上記のように、幅はいずれも変わりませんでした。

また、今回は色落ちもありませんでした。ただ、長さが縮んでしまいます。

そこで当店では、縮めても着物にできる生地をご用意しています。

この生地を、家庭でも扱いやすいように、おもいきり縮めてお仕立てしています。

(※現在は、この実験当時の2002年よりも更に丁寧な行程となっています)

以上、このように結論が出ました。

洗い方によって1、2cmの縮みが出ることがありますが、着用中に長さは回復します。

もっとも、強力コインランドリー&乾燥機を使用された場合などは、うんと縮んで回復しないことがあります。ご注意ください。

初めてこの実験を掲載したのは2002年。まだまだ木綿への認識が薄い頃でした。あれから全国各地の木綿に、改めて光が当たってきたことはまるで我がことのように嬉しく思います。

自ら着用し、すり切れるまで着倒し、使用感を実感してお届けしている「こだまの木綿」。

着る者の目線を大切に、これからも研究を続けます。

普段着の着物マガジン「七緒 vol.4」に、当店での水通しの様子が掲載されています。

(28~34 ページに記載)

七緒スタッフの方が実際に着て、洗濯をされた模様もご覧下さい。

(50~51 ページに記載)

染織こだまウェブサイト初出 2002 年

記載の内容は、実験当時のものです。生地ごとに特性や注意点がございます。

なお、染織こだまでは水通しを「減縮加工」としております。